

goto64

丸ごと博物館市民ボランティアの活動
を聞きに行く

丸ごと博物館の会 1 月学習会（テーマ未定）

平成 29 年 1/28 (土) 10:00～11:00

【主催】ちがさき丸ごと博物館の会【会場】文化資料館講義室【問】市教育委員会社会教育課 ☎ 0467-82-1111 当日先着 10 名。



goto69

「広報ちがさき」について知る
丸ごと博物館講座
「これだけで変わる広報紙づくり」

平成 29 年 2/3 (金) 10:00～11:30

【会場】市役所本庁舎 4 階会議室 1【講師】市秘書広報課職員【問】市教育委員会社会教育課 ☎ 0467-82-1111 当日先着 30 名。



SP
スタンブ

goto73

次世代のエコミュージアムを考える
丸ごと博物館講座「次世代がつくる
都市型エコミュージアムに向けて」

平成 29 年 2/9 (木) 19:00～20:30

【会場】市役所分庁舎 5 階 F 会議室【講師】ちがさき丸ごと博物館アクションプロジェクト・運営部会【問・申込】市教育委員会社会教育課 ☎ 0467-82-1111 対象は 18 歳から 30 歳までの方。定員 20 名。1/16 (月) から事前申し込み（先着順）。



goto83

たくさんの市民活動団体と出会う
ちがさきサポセン☆ワイワイまつり
@中央公園&市民ふれあいプラザ

平成 29 年 2/26 (日) 10:00～15:30

【主催】ちがさき市民活動サポートセンター【会場】中央公園及び市民ふれあいプラザ【問】ちがさき市民活動サポートセンター ☎ 0467-88-7546 買う・食べる・つくる・遊ぶ・学ぶ・ふれあう・観る・聴く・歌う…楽しみながら活動を知るおまつりです。



goto100

わたしの都市資源を選び取る

101 日間を終えて、茅ヶ崎で発見した「わたしの都市資源」を書き込んでください。

goto66

美術館館長から
安土桃山時代の絵画、工芸品を学ぶ
よみなおし日本美術史

平成 29 年 1/29 (日)・2/5 (日)・
2/19 (日)・3/5 (日) 14:00～15:30

【主催】茅ヶ崎市美術館【会場】高砂コミュニティセンター【講師】小川稔さん(茅ヶ崎市美術館館長)【問】茅ヶ崎市美術館 ☎ 0467-88-1177 各回とも当日先着 50 名。



goto72

茅ヶ崎の観光、商工業の振興について知る
丸ごと博物館講座
「茅ヶ崎の観光・商工業・道の駅」

平成 29 年 2/7 (火) 10:00～11:30

【会場】市役所本庁舎 4 階会議室 1【講師】市産業振興課職員【問】市教育委員会社会教育課 ☎ 0467-82-1111 当日先着 30 名。



SP
スタンブ

goto81

「旬」を探しに、市内をバスで巡る！
冬の農畜水産物買い物ツアー

平成 29 年 2/22 (水)

【問】市農業水産課 ☎ 0467-82-1111 時間・内容は決定次第、「広報ちがさき」でご案内します。事前申し込み制（抽選）。



goto84

まちなかの自然を探す
自然観察会 中央公園の自然

平成 29 年 2/27 (月) 10:00～11:30

【会場】中央公園【案内役】岸一弘さん(市教育委員会社会教育課)【問・申込】市教育委員会社会教育課 ☎ 0467-82-1111 定員 20 名。1/16 (月) から☎にて事前申し込み（先着順）。



ちがさき丸ごとふるさと発見博物館からのメッセージ

「丸ごと 101」から「丸ごと 365」へ

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館企画展「丸ごと 101 -茅ヶ崎を知る 101 の機会- 展」に関心を持っていただき、本当にありがとうございます。

同企画展は、市民ボランティアによる実行委員会が企画を考え、このまちをふるさとと実感できるきっかけとなる「101 の機会」をご提案させていただきました。

「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館」事業は、都市資源を活用して地元の人々の「ふるさと」意識を醸成するエコミュージアムという概念を、昔から変わらない風景と生活様式を色濃く残す田園地域のようなまちではなく、首都圏のベッドタウン的な性格を持つこの茅ヶ崎という都市に導入している、日本でも大変珍しい先駆的な試みだと考えます。

われわれは、この試みを「都市型エコミュージアム」と名づけています。

茅ヶ崎は、古くから在住されている方々をはじめ、別荘文化、戦後復興期から高度成長期にいられた方々、近年「湘南」に憧れて移られた方々など、住まう人々の背景が多様なまちです。

そして、それぞれの立場から、幅広くさまざまな市民活動が盛んに展開されている地域だと考えます。つまり、それぞれの方々がそれぞれの想いで「茅ヶ崎大好き！」を表現しているまちだと思います。また、そういった活動に触れながら、この土地で生まれ育ち、この茅ヶ崎を「ふるさと」とする子どもたちがこれからも増えていきます。

われわれの活動は、そのようなみなさんの活動をゆるやかにつなぎ、お互いが知り合うことで新しい何かが生まれる下支えをすることだと思っています。

解説

都市型エコミュージアム「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館」とは

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館とは、茅ヶ崎市全域を建物のない博物館と見立て、文化、歴史、自然、産業、商業、公共施設、人材等を幅広く抽出し（これらを都市資源と呼ぶことにしました）、調査・研究し、それぞれが有する意味や魅力を整理して広く周知する一方、相互に関連づけて活用を図る「茅ヶ崎のエコミュージアム事業」です。愛称は「ちがさき丸ごと博物館」です。ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の活動を通して、茅ヶ崎を知り、茅ヶ崎を好きになり、誇りに思う人が増えることが、まちを生き生きとさせていきます。

茅ヶ崎が大好きで、ふるさとへの愛着を持った人たちが、茅ヶ崎をエコミュージアムとして育んでいきます。

冬の澄んだ空気に映えるえびさ岩、色づく里山の自然、人のあたたかさ…、視点をちょっと変えれば、身近すぎて見落としがちな都市資源は、このまちにはあふれています。

エコミュージアムとは、1960 年代後半にフランスで始まった考え方です。住民と地域を関連づける文化的遺産等を対象として、それらを保護・保存し、時には育てる機能をもった、地域環境そのものが博物館であるとする考え方であり、運営する者も利用する者も、地域住民であることを大きな特徴としています。住民が、

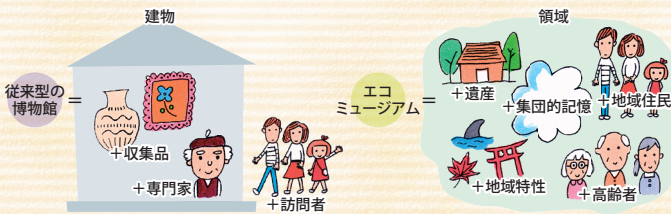
日本は、戦後の急激な経済成長を経て、いま成熟期に入り、少子高齢化、地域コミュニティの希薄化、経済的格差の拡大、シニアライフの過ごし方…など、さまざまな課題に直面しています。まさに「課題先進国」といえるでしょう。

ただ、今を生きるわれわれにとって、漫然と問題を並べたてて悩んでいるだけでは、物事が閉塞していくばかりだと考えます。丸ごと博物館の活動は、そういったさまざまな課題解決の糸口になる潜在性と可能性を秘めている活動だと思います。丸ごと博物館を通して、みんなで「課題解決先進都市 CHIGASAKI」を実現できればなんて思ったりもしています。

住まう人々の身の丈にあった活動をつむぐことが、「都市型エコミュージアム」の活動につながり、今回の 101 日間にわたって屋根の無い博物館の企画展として展開する「丸ごと 101」という企画展が、1 年中、まさに経常化することで「丸ごと 365」という博物館の常設展になればと思います。

「丸ごと 101」にご参加いただく市民のみなさんそれぞれが、このちがさき丸ごと博物館における重要な「学芸員」さんです。どうぞ、これからも「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館」へのご協力、ご支援、そしてご参加をよろしくお願い申し上げます。

そして、この「丸ごと 101」にご参加いただいたおひとりおひとりが、それぞれに茅ヶ崎を知る 101 の機会に出合う 101 日間を終えたとき、それぞれの「わたしの都市資源」を発見していただけたなら幸いです。



従来の博物館とエコミュージアムの概念図
Rivard, René. 1984. Opening up the museum or Toward a new museology : ecomuseums and "open" museums をもとに作成